

Press Release



将来的には指導者としての道も 浅田真央さんが自身の将来について語る インタビュー動画を公開

現在、浅田真央さんは ECC にて英会話を学ばれています。英会話学習の状況についてインタビューをしました。

総合教育・生涯学習機関の株式会社 ECC（本社：大阪市北区、代表取締役社長：山口勝美）のブランドアンバサダーを務める浅田真央さんに、英語学習についてインタビューをしました。トップアスリートとして活躍してきた浅田さんは、英語学習でも集中力が高く、とても熱心。メキメキと英語力を身につけています。インタビューのなかで浅田さんはご自身の将来のビジョンについても触れられました。将来のビジョンを語る浅田さんの姿は必見です。

■インタビューー

>> 具体的なビジョンをお伺いしてもいいですか？

■浅田真央さん

>> 将来（スケートを）教えたとなつて、海外から生徒が来たら、また（対応も）変わるだろうなと思ったり、振付の先生も日本人だけではなくて、世界中に振付師の人がいるので、そういう先生ともコミュニケーションが取れるんじゃないかな、とか自分がコーチをして、海外から先生を呼んだ時に自分が通訳をして生徒に教えられるんじゃないかな、とかそういうアイデアというのはすごく広がりました。



将来（スケートを）教えたとなつて、海外から生徒が来たら

▼レッスンの様子や「英会話学習について」vol.1
<https://youtu.be/k13gytNxtmU>



▼レッスンの様子や「英会話学習について」vol.2
<https://youtu.be/FGm581p88A>



▼レッスンの様子や「英会話学習について」vol.3
<https://www.youtube.com/watch?v=fpa7YH1HZJI>



【本件に関わる取材などプレス関連は、下記連絡先までお問い合わせ下さい】

株式会社 ECC 総合研究所・マーケティング本部 広告広報部 担当：東出 （受付：月～金 10：00～19：00）

Tel: 06-6352-0148 Fax: 06-6352-0138 E-mail: kouhou@ecc.co.jp

Press Release



インタビュー内容

■スケートに例えると、今日の辺りまで来ましたか？

まっすぐ滑って、後ろ向き滑れるようになって・・・くらいだと思います。しゃべるのがどうしてもちょっと考えてしまう部分があるので、目標はスムーズに話せるようになることかな？と思います。これもやっぱりスケートと一緒に、継続が大事なのかな？とは思っています。

■現役の頃から、「英会話ができたらいいな」という思いはありましたか？

海外に行くことも多かったですし、海外の選手の子たちとも英語でもっとお話できれば良かったな、と思ったこともありました。ECCに通い始めてから、振付けの先生とメールを交換して、「英語通い始めたんだよー」って送ったら、「それはいいことだね！今度会う時にたくさんしゃべれるといいね。」というメッセージは頂きました。それまでもっともっと話せたらいいな、と思っています。

■「ECC 英会話のいい点」、真央さんはどう捉えていますか？

いつも自分のタイミングが合う時に受けるんですけども、毎回違う先生だと、話もすごく弾んだりとか、毎回どの先生が来るのかすごく楽しみだし、プライベート（コース）だと、自分のペースでわからないことは聞いて、理解できるまで先生方も答えてくださるので、そこはすごく助かっています

■レッスン以外で英語に触れる工夫について何かしていますか？

以前、こちら（ECC）で頂いたCDとかを車の中でかけて聞いたりとか、日本にいると英語に触れ合う機会って全然ないと思うので、なるべく車の移動で英語のCDを聞いたりしています。

■プライベートで、英語を話せる方と英語を話す機会はありますか？

それはありますね。お友達にも英語をしゃべれる子もいるので、そういった子とはなるべく英語でしゃべろうかな、と思っています。

■自分でも成長を感じていますか？

先生の言ってることとか理解できると「ちょっとずつ前に進んでいるのかな？」という風には思います。「先生の出身の観光名所はどこですか？」「おいしい食べ物は何かですか？」とか、そういう教科書に載っていないこともお話できるので、色んなことを知ることができます。レッスンの時に、必ず1回は食べ物のお話になって、今日は先生の・・・ニューキャッスルのおいしい食べ物は何かですか？とか。

■スケートのことを教えてあげたりしたことありますか？

「スケートどこで滑れるの？」とか、先生もいろいろと聞いて来られたので「ここで滑れるよ」って教えてあげたり、そういった、普通の話もできるので、それは普段でも使えるのかな？って、思ったりしています。

■英語を使って、話しながら教えてあげる気持ちはありますか？

そういうECCのイベントがあればぜひ！

【本件に関わる取材などプレス関連は、下記連絡先までお問い合わせ下さい】

株式会社ECC 総合研究所・マーケティング本部 広告広報部 担当：東出（受付：月～金 10：00～19：00）

Tel: 06-6352-0148 Fax: 06-6352-0138 E-mail: kouhou@ecc.co.jp

Press Release



■スケートと英会話、共通している点がありますか？

スケートも ECC も日々の継続だと思います。スケートも滑ってないと感覚がすごく悪くなってしまっていて取り戻すのにすごく時間がかかるんですけど、英語も一緒に、やっぱり毎日英語に触れたり考えたりしていると、次のレッスンもすごくスムーズにいくんですけども、長い時間休んでしまうと、なかなか自分の思っている言葉が出なかったりすることがあるので、「継続が大切だな」と思っています。常に考えたり、ちょっとでも触れることってすごく大切だな、と改めて思っています。

■ECCで英語を学ぼうか悩んでいる方に、アドバイスはありますか？

英語って、しゃべれることによって世界が広がると思うので、私は、英語はしゃべれた方が絶対がいいと思いますし、出会いが広がると思うので、通いたいな、と思っている方は、一度お試し（無料体験）だけでもしてもらえると、前に進めるんじゃないかな？と思います。

■真央さん自身、（世界が）広がったなと感じた時はありましたか？

こうして先生と出会うことで色々な情報だったり、また将来のビジョンだったり、そういうのも少しずつアイデアも出てくると思うので、私は、通ってよかったなと思います。

■具体的なビジョンをお伺いしてもいいですか？

将来（スケート）を教えたとなって、海外から生徒が来たら、また（対応も）変わるだろうなと思ったり、振付の先生も日本人だけではなくて、世界中に振付師の人がいるので、そういう先生ともコミュニケーションが取れるんじゃないかな、とか自分がコーチをして、海外から先生を呼んだ時に自分が通訳をして生徒に教えられるんじゃないかな、とかそういうアイデアというのはすごく広がりました。

■英会話を始めてよかったですか？

はい。

【株式会社 ECC】 <http://www.ecc.co.jp>

ECCは1962年創業以来、総合教育・生涯学習機関として様々な教育活動を展開。55年にわたる実績と信頼を強みに持ち、外国語教育市場でシェア No.1(※)の企業です。幼児からシニア世代までそれぞれの目的を実現する独自のカリキュラムや教材を導入し、確かな成果を生み出しています。語学教育を通じて、時代にあった“真の国際人”としての資質を兼ね備えた人材を育てることをECCの使命としています。(※)「語学ビジネス徹底調査レポート2017」矢野経済研究所

【ECC公式YouTubeチャンネル】 <https://www.youtube.com/user/ECCgroup>

「ECCチャンネル」は、講師のご紹介、実際のレッスン風景を通して“英語の楽しさを知ってもらう！”ことを目的に立ち上げました。

【本件に関わる取材などプレス関連は、下記連絡先までお問い合わせ下さい】

株式会社 ECC 総合研究所・マーケティング本部 広告広報部 担当：東出（受付：月～金 10：00～19：00）

Tel: 06-6352-0148 Fax: 06-6352-0138 E-mail: kouhou@ecc.co.jp